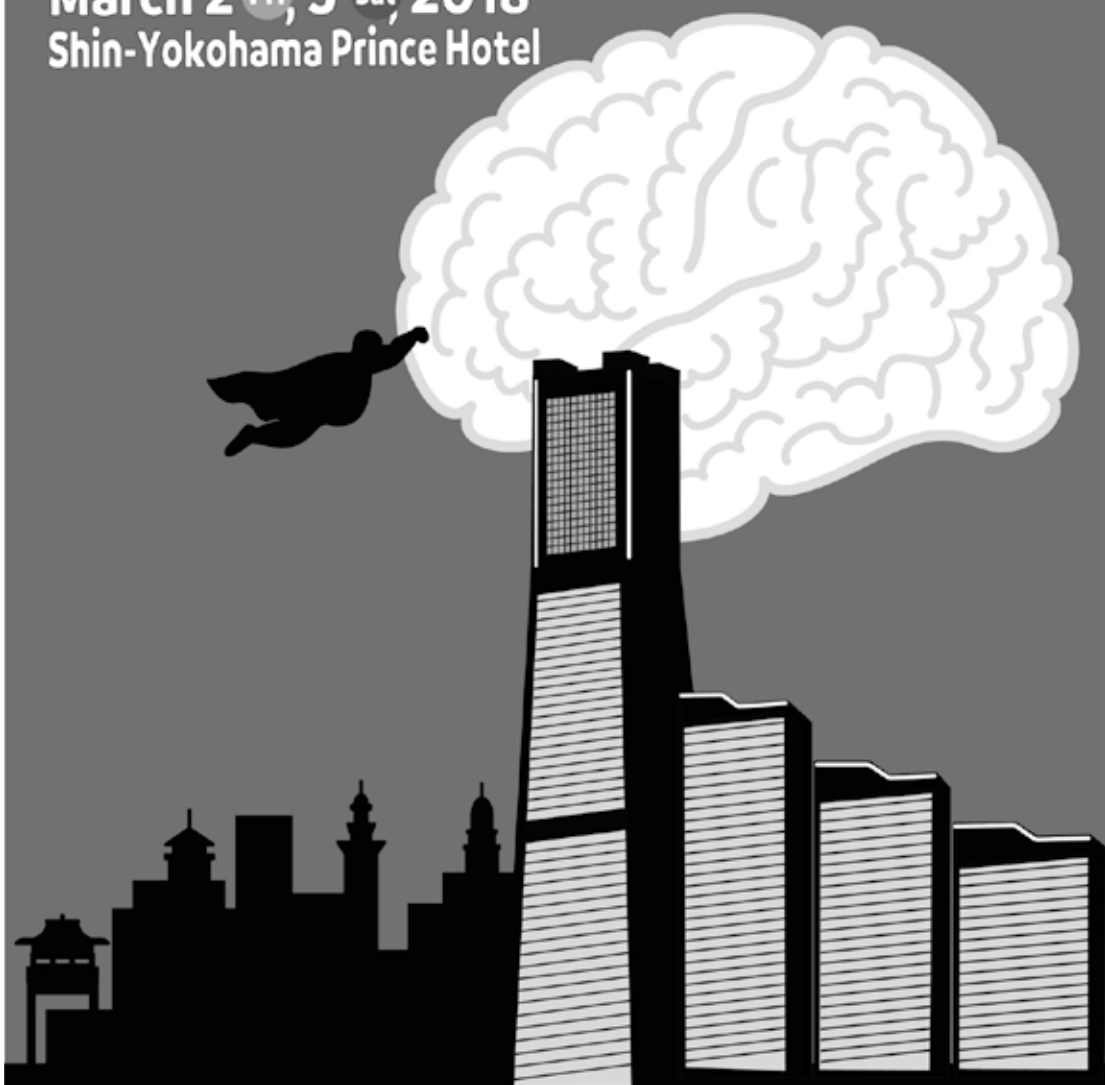


20th Annual Meeting of Japan Human Brain Mapping Society

JHBM 2018 YOKOHAMA

March 2 Fri, 3 Sat, 2018

Shin-Yokohama Prince Hotel



第 20 回日本ヒト脳機能マッピング学会 JHBM 2018

会期：2018 年 3 月 2 日（金）・3 日（土）、会場：新横浜プリンスホテル





第 20 回日本ヒト脳機能マッピング学会の開催のご挨拶

来る 2018 年 3 月 2 日・3 日の両日、新横浜プリンスホテルにおいて第 20 回日本ヒト脳機能マッピング学会（JHBM 2018）を開催することになりましたのでご案内を申し上げます。

本学会は、fMRI、EEG、ERP、MEG、NIRS、PET、SPECT など最先端のイメージング技術を駆使して、臨床と基礎の両面から、記憶、認知、学習、言語、行為などの認知機能の解明と、その発達や障害、機能回復等に係わる神経科学の理解を深め、意見を交換することを目的としております。医学、工学、情報学、脳神経科学などの研究者が各々の専門領域を超えて集い学際的な活動を行っております。

現在、医学的見地のみならず社会的な問題として注目される高齢者の認知症や小児の学習障害などに関連して、この分野の研究の進歩に社会的な期待が高まっております。研究分野は、神経内科学、脳神経外科学、放射線医学、精神医学、神経生理学、神経心理学、認知神経科学、心理学、障害医学、教育学など広い分野にわたり、さらに耳鼻咽喉科、眼科、心療内科、リハビリテーション、ストレス医学などの臨床医学の分野から、環境科学、情報科学、医用工学、電子工学などの分野まで幅広い領域を包含し、各研究分野からのそれぞれの視点に基づいたユニークな研究発表に対して活発な討論を展開することを目標としております。

第 20 回日本ヒト脳機能マッピング学会は横浜市で開催されます。横浜市には、東洋一の規模と称せられる横浜中華街、山下公園、みなとみらい 21、八景島シーパラダイスなど人気の観光スポットがありますので、横浜の魅力も堪能して頂きたいと思っております。また、会場の新横浜プリンスホテルは、東海道新幹線の新横浜駅に隣接し、首都高速道路横浜北線の開通により羽田空港からも約 30 分でアクセス可能となりました。

最新の研究成果について熱く語り合える会にしたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

第 20 回日本ヒト脳機能マッピング学会

会長 長田 乾



1. 会期

2018年3月2日(金)・3日(土)

2. 参加受付

- 1) 参加登録受け付けは3月2日(金)午前9時より会場の前にて行います。
プログラム(本誌)、ネームカード等をお渡しいたします。
会期中はネームカードをご着用下さい。
- 2) 参加登録費は以下の通りです。

一般会員	10,000円
一般非会員	12,000円
学生	3,000円

3. 一般演題のご発表

1) 口頭発表

講演時間は、口演8分、質疑2分の計10分です。
ご発表はメモリーなどの記憶媒体でも、ご自身のノートパソコンでも可能です。
Macintosh および Windows-PC が映写可能です。
Microsoft Office PowerPoint 2003 以降に対応しています。

2) ポスター発表

・サイズ・記載事項

ポスターパネルの大きさは、横90cm×縦180cmです。
ポスターのサイズについては特に指定致しません。
演題名、所属、演者名、発表内容を含めてご準備下さい。
貼付用テープ画鋏等は事務局でご用意致します。

・貼付・撤去時間

ポスターは2日間通しての掲示をお願い致します。
貼付及び撤去は下記の時間をお願い致します。

○貼付： 3月2日(金) 9:00-12:00

○撤去： 3月3日(土) 15:00-17:00

※撤去時間を過ぎても残っているポスターは、事務局にて撤去処分させていただきますので予めご了承下さい。

・示説時間（コアタイム）

発表者は下記の示説時間にご自身のパネルの前で待機してして下さい。

今回はショートプレゼンテーションの時間を設けませんので、参加者の方と自由にご議論下さい。

○演題番号が P1 で始まる発表者： 3月2日（金）13:40-14:30

○演題番号が P2 で始まる発表者： 3月3日（土）13:00-13:50

・ベストポスター賞

選考対象者は日本ヒト脳機能マッピング学会の会員のみです。

応募された方でまだ会員になられていない方は入会申し込み手続きを行って下さい。

ベストポスター賞は選考委員の審議により決定し、閉会式で授与されます。

4. 情報交換会

1) 会場：新横浜プリンスホテル3階 セレナーデ

2) 日時：2018年3月2日（金）午後6時30分より

※ 学会参加者は無料です。

5. 運営委員会

1) 会場：新横浜プリンスホテル3階 会議室 323

2) 日時：2018年3月3日（土）午後1時30分より

6. クレジット

日本神経学会専門医のクレジットが2点付きます。認定更新の際に学会参加証をご提出下さい。

日本脳神経外科学会専門医のクレジットが3点付きます。日本脳神経外科学会のクレジット取得を希望される方は、総合案内にてその旨をお知らせ下さい。

7. 日本ヒト脳機能マッピング学会への入会

学会入会のための窓口を総合受付に設けます。本学術大会は日本ヒト脳機能マッピング学会の会員・非会員を問わずご発表頂けますが、ご入会をご検討頂けると幸いです。

学会事務局：

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院 てんかんセンター内

電子メール：jhbm-office@umin.ac.jp

8. 第20回日本ヒト脳機能マッピング学会大会事務局

〒225-0025 横浜市青葉区鉄町 2201-5

横浜総合病院 臨床研究センター（長田乾・田村美紗緒）

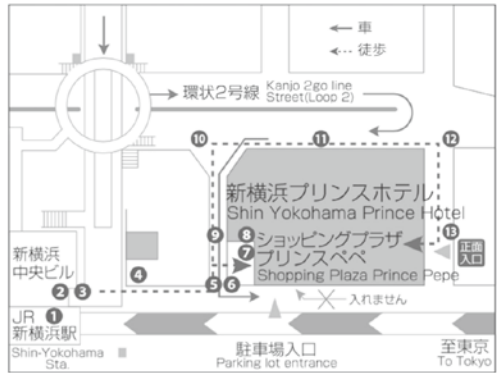
電話：045-522-6298、FAX：045-522-6299

電子メール：jhbm@brain.yokohama

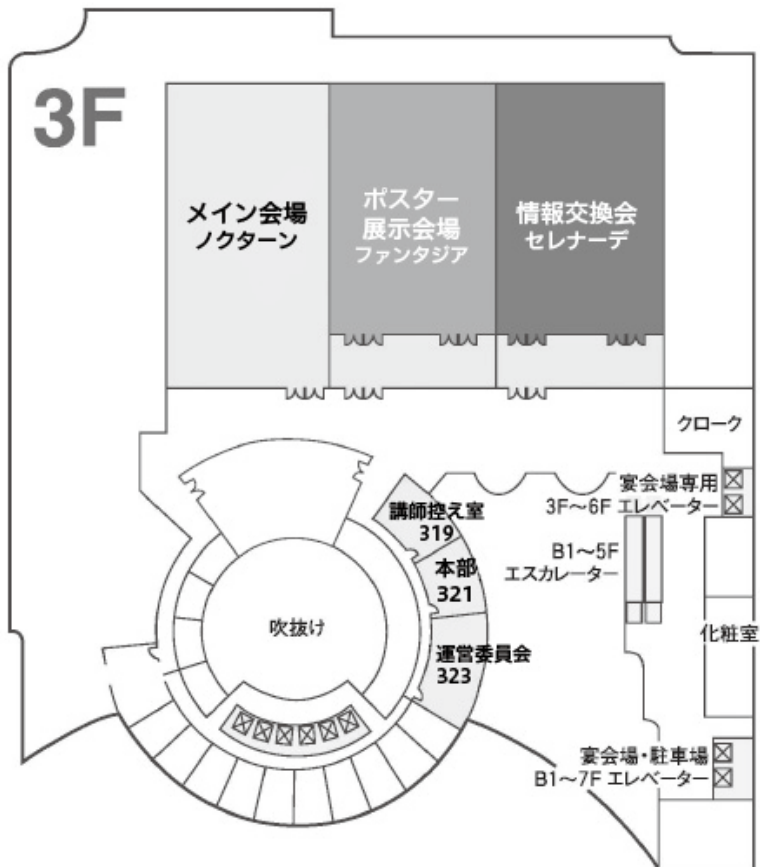
9. 会場 新横浜プリンスホテル3階 ノクターン・ファンタジア・セレナーデ
 〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-4
 電話：045-471-1111、FAX：045-471-0303



交差点拡大図
 Crossing enlargement



電車／東海道新幹線・JR横浜線・市営地下鉄の新横浜駅より徒歩2分。



実行委員会

会長	長田 乾	横浜総合病院臨床研究センター
副会長	松田 哲也	玉川大学脳科学研究所
事務局	田村 美紗緒	横浜総合病院臨床研究センター
	山崎 貴史	横浜総合病院神経内科
	高野 大樹	横浜総合病院神経内科
委員	江田 英雄	光産業創成大学院大学光医療・健康分野
	大川 敦史	横浜総合病院神経内科
	大友 智	みやぎ県南中核病院脳神経外科
	大坪 宏	トロント大学医学部小児科
	尾崎 勇	青森県立保健大学健康科学部理学療法学科
	菅野 巖	放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部
	古賀 良彦	杏林大学精神神経科
	川崎 聡大	東北大学大学院教育学研究科人間発達臨床科学講座
	小林 哲生	京都大学大学院工学研究科
	近藤 靖	秋田県立リハビリ精神医療センター
	佐藤 正之	三重大学医学部認知症医療学講座
	佐藤 雄一	能代山本医師会病院神経内科
	下邨 華菜	横浜総合病院神経内科
	田中 成明	横浜総合病院神経内科
	綱島 均	日本大学生産工学部機械工学科
	中川 雅文	国際医療福祉大学耳鼻咽喉科
	平元 周	横浜総合病院脳神経外科
	村岡 玲奈	横浜総合病院神経内科
	山本 哲也	生理学研究所システム脳科学研究領域心理生理学部門
	湯屋 博通	セセッカ診療所
	横内 哲也	横浜総合病院脳神経外科
	横山 絵里子	秋田県立リハビリ精神医療センター



日本ヒト脳機能マッピング学会役員

青木 茂樹	順天堂大学放射線科
阿部 修	東京大学大学院医学系研究科生物物理医学専攻放射線医学講座
池田 昭夫	京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学講座
伊藤 浩	福島県立医科大学放射線医学講座
乾 敏郎	追手門学院大学心理学部
植村 研一	浜松医科大学, リハパークきくま
宇川 義一	福島県立医科大学神経内科
尾内 康臣	浜松医科大学生体機能イメージング研究室
岡沢 秀彦	福井大学高エネルギー医学研究センター
岡田 英史	慶應義塾大学理工学部電子工学科
柿木 隆介	自然科学研究機構生理学研究所システム脳科学研究領域統合生理研究部門
笠井 清登	東京大学大学院医学系研究科精神医学
加藤 天美	近畿大学医学部脳神経外科
鎌田 恭輔	旭川医科大学医学部脳神経外科
嘉山 孝正	山形大学医学部先進がん医学講座
川島 隆太	東北大学加齢医学研究所脳機能開発研究分野
河村 満	昭和大学附属東病院
菅野 巖	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部
木下 利彦	関西医科大学精神神経科
栗城 真也	東京電機大学先端工学研究所
小泉 英明	株式会社日立製作所中央研究所
古賀 良彦	杏林大学医学部, 日本ブレインヘルス協会
小林 哲生	京都大学大学院工学研究科電気工学専攻
斎藤 延人	東京大学脳神経外科
櫻井 靖久	三井記念病院神経内科
定藤 規弘	自然科学研究機構生理学研究所大脳皮質機能研究系
篠崎 和弘	和歌山県立医科大学神経精神医学教室
杉下 守弘	公益財団法人脳血管研究所
杉山 憲嗣	浜松医科大学脳神経外科
武田 克彦	文京認知神経科学研究所
瀧 靖之	東北大学加齢医学研究所
辻 省次	東京大学大学院医学系研究科神経内科学教室
飛松 省三	九州大学大学院医学研究院脳研臨床神経生理
富永 悌二	東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野
中里 信和	東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野
中田 力	新潟大学統合脳機能研究センター
長田 乾	横浜総合病院臨床研究センター
平田 幸一	獨協医科大学神経内科
福田 正人	群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学



福山 秀直	京都大学学際融合教育研究推進センター
藤木 稔	大分大学医学部脳神経外科
星 詳子	浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター
堀 智勝	森山記念病院
松田 哲也	玉川大学脳科学研究所
宮内 哲	情報通信研究機構未来 ICT 研究センター
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学
森 悦朗	大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学寄附講座
山田 真希子	量子科学技術振興機構放射線医学総合研究所
湯本 真人	東京大学大学院医学系研究科病態診断医学講座
吉浦 敬	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学
渡辺 英寿	自治医科大学

歴代大会長

1999年	第1回	植村 研一	浜松医科大学脳神経外科
2000年	第2回	古賀 良彦	杏林大学医学部精神神経科
2001年	第3回	平田 幸一	獨協医科大学神経内科
2002年	第4回	酒田 英夫	日本大学第一生理学
2003年	第5回	上野 照剛	東京大学大学院医学系研究科医用生体工学
2004年	第6回	堀 智勝	東京女子医科大学脳神経センター脳神経外科
2005年	第7回	杉下 守弘	公益財団法人脳血管研究所
2006年	第8回	定藤 規弘	自然科学研究機構生理学研究所
2007年	第9回	菅野 巖	秋田県立脳血管研究センター放射線医学研究部
2008年	第10回	嘉山 孝正	山形大学医学部脳神経外科
2009年	第11回	中田 力	新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター
2010年	第12回	渡辺 英寿	自治医科大学脳神経外科
2011年	第13回	福山 秀直	京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター
2012年	第14回	星 詳子	東京都医学総合研究所
2013年	第15回	宇川 義一	福島県立医科大学医学部神経内科学講座
2014年	第16回	森 悦朗	東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野
2015年	第17回	加藤 天美	近畿大学医学部脳神経外科
2016年	第18回	小林 哲生	京都大学大学院工学研究科
2017年	第19回	村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)
2018年	第20回	長田 乾	横浜総合病院臨床研究センター
2019年	第21回	湯本 真人	東京大学大学院医学系研究科病態診断医学講座

PROGRAM



JHBM2018 YOKOHAMA
20th Annual Meeting of Japan Human Brain Mapping Society



Time Table



3月2日 (金)			
メイン会場【ノクターン】	ポスター・機器展示会場【ファンタジア】	会議・情報交換会【セレナーデ】	
9:00 受付開始	9:00-12:00 ポスター貼付	18:30 情報交換会	
9:40-9:50 開会式			
9:50-10:30 一般・口頭発表1 座長：小林哲生			
10:40-11:50 シンポジウム1 「ニューロマーケティング」 座長：中川雅文			
12:00-13:00 ランチョンセミナー1 座長：大友智 演者：中野仁・福井俊哉 ＜第一三共株式会社＞			
13:10-13:40 教育講演1 座長：湯屋博通 演者：David K Wright			
13:40-14:30 ポスター発表1 (P1～)			
14:40-15:40 特別講演 座長：松田哲也 演者：下條信輔			
15:50-16:20 教育講演2 座長：古賀良彦 演者：大坪宏			
16:30-17:10 一般・口頭発表2 座長：高橋英彦			
17:20-18:20 イブニングセミナー 座長：木下利彦 演者：櫻井靖久 ＜富士フィルムRIファーマ株式会社＞			
3月3日 (土)			
メイン会場【ノクターン】	ポスター・機器展示会場【ファンタジア】	会議室【323】	
9:00 受付開始	13:00-13:50 ポスター発表2 (P2～)	13:30-14:30 運営委員会	
9:30-10:00 教育講演3 座長：横山絵里子 演者：尾崎勇			
10:10-11:50 シンポジウム2 「脳画像研究up to date」 座長：笠井清登・林拓也			
12:00-13:00 ランチョンセミナー2 座長：平元周 演者：松田博史 ＜エーザイ株式会社＞			
14:00-14:40 スポンサーセミナー 座長：中川雅文 演者：中石真一路 ＜ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社＞			
14:50-16:05 シンポジウム3 「神経疾患における画像診断の新展開」 座長：松浦慶太・江田英雄			
16:05-16:25 ベストポスター賞授与・閉会式			
			15:00-17:00 ポスター撤去

JHBM2018 YOKOHAMA



March 2nd, Friday, 2018

3月2日(金)

開会の挨拶 9:40~9:50

長田乾 (横浜総合病院臨床研究センター)

一般演題 □頭発表 1 9:50~10:30

座長: 小林哲生 (京都大学大学院工学研究科)

O1-1. right DLPFC の GABA level と社会的価値志向性との関連

藤井貴之¹、宮崎淳¹、高橋宗良¹、石原暢¹

田中大貴¹、栗林秀人²、高岸治人¹、松田哲也¹

¹玉川大学脳科学研究所、²シーメンスヘルスケア株式会社

O1-2. 視線計測キャリブレーションシステムの開発

本山功^{1,2}、宇田竹信¹、江田英雄²

¹株式会社オレンジアーチ、²光産業創成大学院大学

O1-3. 確率的推論における認知的バイアスと関連する構造的・機能的結合性の検討

宮田淳¹、笹本彰彦¹、澤本伸克²、森康生¹、磯部昌憲¹、浦山慎一³

麻生俊彦^{1,3}、酒井雄希⁴、河内山隆紀⁴、村井俊哉¹、高橋英彦¹

¹京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

²京都大学大学院医学研究科近未来型人間健康科学融合ユニット

³京都大学大学院医学研究科脳機能総合研究センター

⁴国際電気通信基礎技術研究所

O1-4. 事象関連深部脳活動法による対連合記憶形成メカニズム解明とゲシュタルトの関与

新木安里子¹、今井絵美子¹、片桐祥雅^{1,2}

¹神戸大学大学院保健学研究科、²国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)

Coffee Break 10:30~10:40

シンポジウム 1 10:40～11:50

「ニューロマーケティング」

座長：中川雅文（国際医療福祉大学、一般社団法人日本ニューロマーケティング協会）

1. マーケティングの現場から、ニューロサイエンスへの期待と課題

細野晴義

株式会社ニューロ・テクニカ

2. NIRS による快・不快情動の評価とロボットの外観評価への応用

柳澤一機¹、森拓也²、安野修平¹、綱島均¹

¹日本大学生産工学部、²日本大学大学院生産工学研究科

3. より強固な顧客とのエンゲージメントを実現するための取り組み

～我が社におけるニューロマーケティング活用の足跡～

菅沼満

トッパン・フォームズ株式会社

4. 日本ニューロマーケティング協会の活動について

中川雅文

日本ニューロマーケティング協会

Coffee Break 11:50～12:00

ランチオンセミナー1 12:00～13:00

座長：大友智（みやぎ県南中核病院脳神経外科）

てんかんに関する最近の話題

中野仁

市ヶ尾カリヨン病院神経内科

「えっ、えっ？」と聞き直すアルツハイマー病の症状

～難聴です、か？～

福井俊哉

医療法人花咲会かわさき記念病院

Coffee Break 13:00～13:10

教育講演 1 13:10～13:40

座長：湯屋博通（セセツカ診療所）

一般演題 ポスター発表 1 13:40~14:30

P1-1. 白質神経線維束の自動クラスタリングに基づく MR 拡散情報のプロファイル解析法

井田和希¹、奥畑志帆¹、中井隆介²、小林哲生¹

¹京都大学工学研究科、²京都大学こころの未来研究センター

P1-2. 無意識思考の脳メカニズム：思考内容とパフォーマンスの関係

影山徹哉¹、河田サントスケルシ人美¹、川島隆太^{2,3}、杉浦元亮^{1,4}

¹東北大学加齢医学研究所人間脳科学研究分野

²東北大学加齢医学研究所応用脳科学研究分野

³東北大学加齢医学研究所ユビキタスセンサー研究分野

⁴東北大学災害科学国際研究所災害情報認知研究分野

P1-3. サイコパスにおける不正直さは認知的葛藤を伴わないのか？

収監中の囚人を対象とした fMRI 研究

阿部修士¹、Joshua D. Greene²、Kent A. Kiehl³

¹京都大学こころの未来研究センター

²Department of Psychology, Harvard University

³Department of Psychology, University of New Mexico

P1-4. 高周波数点滅刺激を用いた SSVEP ニューロフィードバックトレーニング効果の検討

諸田翔平、小野弓絵

明治大学大学院理工学研究科

P1-5. fMRI 法による危険予知トレーニング状況下における脳賦活部位の推定

米持圭太、松井志保人、柏倉健一

群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部

P1-6. 個人の記憶容量に依存した短期記憶時脳活動の特徴解析

寺本将平、小野弓絵

明治大学大学院理工学研究科

P1-7. 性差は安静時脳機能ネットワークに違いをもたらす一つの因子である

堂西倫弘¹、寺田正樹²、金桶吉起¹

¹和歌山県立医科大学・医・生理学 I、²医療法人昭陽会和歌山南放射線科クリニック

P1-8. ポジティブ情報の忘却に関わる安静時脳機能ネットワークの検討

伊里綾子、横川啓太、伊藤岳人、須原哲也、山田真希子
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線総合医学研究所
臨床クラスター脳機能イメージング研究部

P1-9. 眼球運動計測を用いた視線バイアスに関わる脳機能ネットワーク

横川啓太、伊里綾子、小島一步、西村春輝、須原哲也、山田真希子
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線総合医学研究所
臨床クラスター脳機能イメージング研究部

P1-10. GRAPPA を併用した Multiband EPI による Leakage-Block の画像的影響の評価

岩崎敬^{1,2}、福永一星²、濱崎望²、佐藤秀二²
芳士戸治義²、村田勝俊³、堀正明^{1,2}、青木茂樹^{1,2}
¹順天堂大学大学院医学研究科放射線診断学専攻
²順天堂大学医学部附属順天堂医院放射線部、³シーメンスヘルスケア

P1-11. 自尊心の妬みとシャーデンフロイデ抑制作用の神経メカニズムの解明

山崎翔平¹、杉浦元亮¹、河田サントスケルシ人美²
佐々木結咲子¹、野内類¹、榊浩平¹、池田純起¹、川島隆太¹
¹東北大学加齢医学研究所、²東京大学進化認知科学研究センター

P1-12. Serotonergic neural network related to behavioral inhibition system

Kazuho Kojima^{1,2}, Makiko Yamada², Shigeki Hirano^{1,2}, Yasuyuki Kimura³
Chie Seki², Yoko Ikoma⁴, Keisuke Takahata², Takehito Ito²
Keita Yokokawa², Hiroki Hashimoto⁵, Kazunori Kawamura⁵, Ming-Rong Zhang⁵
Hiroshi Ito⁶, Makoto Higuchi², Satoshi Kuwabara¹, Tetsuya Suhara²
¹Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Chiba University
²Department of Functional Brain Imaging Research, National Institute of Radiological Sciences, National Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology
³Department of Clinical and Experimental Neuroimaging, Center for Development of Advanced Medicine for Dementia, National Center for Geriatrics and Gerontology
⁴Department of Molecular Imaging and Theranostics, National Institute of Radiological Sciences, National Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology
⁵Department of Radiopharmaceuticals Development, National Institute of Radiological Sciences, National Institute of Radiological Sciences, National Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology
⁶Department of Radiology and Nuclear Medicine, Fukushima Medical University

P1-13. 健常成人における、日常生活の各活動量と脳構造の関係についての性別毎の検討

植野司、大石直也、村井俊哉
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

P1-14. 3D ASL を用いた functional MRI の手法確立

大内恵理子¹、臼庭等¹、村中博幸²、根本清貴³

¹茨城県立こころの医療センター研究検査科、²つくば国際大学医療保健学部診療放射線学科

³筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

P1-15. 風味評価プロセスにおける初期の口当たりと後味の判断に関連した島皮質の活動

高橋宗良¹、藤井貴之¹、宮崎淳¹、石原暢¹、田中大貴¹、下條信輔^{1,2}、松田哲也¹

¹玉川大学脳科学研究所、²カリフォルニア工科大学

P1-16. 高精度の白質神経線維束解析に向けた dMRI のマルチバンド撮像プロトコルの検討

古橋直也¹、井田和希²、奥畑志帆²、中井隆介³、小林哲生²

¹京都大学工学部電気電子工学科

²京都大学大学院工学研究科、³京都大学こころの未来研究センター

P1-17. 高齢者における自己の「死」とその恐怖への脳反応：fMRI 研究

平野香南¹、大場健太郎¹、齊藤俊樹¹、山崎翔平¹、川島隆太¹、杉浦元亮^{1,2}

¹東北大学加齢医学研究所、²東北大学災害科学国際研究所

P1-18. 7-T fMRI を用いた扁桃体情動処理に対する被験者間デコーディング

岡本直宏、田中敏子、黄田育宏、春野雅彦
情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター

P1-19. 左前頭葉の脳腫瘍が大脳皮質厚に及ぼす影響

金野竜太¹、村垣善浩²、丸山隆志²、田村学²、田中恭平³、小野賢二郎¹、酒井邦嘉³

¹昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門

²東京女子医科大学脳神経外科、³東京大学大学院総合文化研究科関連基礎科学系

P1-20. Taking a leader stance recruits reward related area during rhythmic interaction

佐武宏香¹、守田知代¹、高橋英之¹、内藤栄一²、浅田稔¹

¹大阪大学、²NICT Cinet

P1-21. プロピオンによる聴覚情動認知・機能的結合に対する効果：fMRI 研究

濱智子^{1,2}、肥田道彦²、池田裕美子³、舘野周²、鈴木秀典³、大久保善朗²

¹文京学院大学、²日本医科大学大学院精神行動医学分野、³日本医科大学大学院薬理学分野

P1-22. Q 空間画像化法による脳脊髄液微速運動の可視化に関する基礎検討

鎌田隆義¹、丸山謙太¹、服部優²、村上嘉野²

吉田彩音²、松前光紀³、厚見秀樹³、黒田輝¹

¹東海大学大学院工学研究科電気電子工学専攻

²東海大学情報理工学部情報科学科、³東海大学医学部脳神経外科

P1-23. HCP パイプラインによる 7T fMRI の時空間双方向のアーチファクト低減の効果に関する検討
山本哲也¹、菅原翔^{1,2}、濱野友希^{1,3}、福永雅喜^{1,2}、定藤規弘^{1,2}
¹生理学研究所心理生理学研究部門
²総合研究大学院大学生命科学研究科、³日本学術振興会特別研究員

P1-24. ロボットに誘発される自己開示とそれに付随する線条体の活動
高橋英之^{1,2}、守田知代^{3,4}、島谷二郎^{1,2}、吉川雄一郎^{1,2}、石黒浩^{1,2}、内藤栄一⁴
¹大阪大学大学院基礎工学研究科、²ERATO、³大阪大学大学院工学研究科、⁴CiNet

P1-25. 非同期・実時間位相コントラスト法と Stockwell 変換による自由呼吸下における CSF 運動の
分離と特徴抽出
春原紗依子¹、八ツ代諭²、徳島徹也¹、松前光紀³、厚見秀樹³、黒田輝^{1,2}
¹東海大学工学研究科電気電子工学専攻
²東海大学大学院総合理工学研究科総合理工学専攻
³東海大学医学部脳神経外科

Coffee Break 14:30~14:40

特別講演 14:40~15:40

座長：松田哲也（玉川大学脳科学研究所）

感覚代行と、神経系の多感覚可塑性

Sensory substitution, and multisensory neural plasticity

下條信輔

Shinsuke Shimojo

カリフォルニア工科大学生物・生物工学部 / 計算神経系

Division of Biology & Biological Engineering / Computation & Neural Systems,
California Institute of Technology

Coffee Break 15:40~15:50

教育講演 2 15:50~16:20

座長：古賀良彦（杏林大学医学部, 日本ブレインヘルス協会）

脳磁図とてんかん病理

Magnetoencephalography and epileptic pathology

大坪宏

トロント小児病院臨床神経生理部門

トロント大学小児科

Coffee Break 16:20~16:30

一般演題 口頭発表2 16:30~17:10

座長：高橋英彦（京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室）

O2-1. 血液由来の低周波オシレーションが脳機能マッピングに及ぼす影響

麻生俊彦

京都大学医学研究科精神科神経科

O2-2. 視床下核脳深部刺激術後の Parkinson 病患者における線条体腹側部の
ドパミン・トランスポーター増加

野崎孝雄¹、杉山憲嗣¹、浅川哲也¹、難波宏樹¹

横倉正倫²、寺田達弘³、尾内康臣⁴

¹浜松医科大学脳神経外科、²同精神神経科、³静岡てんかん・神経医療センター

⁴浜松医科大学光先端医学教育研究センター生体機能イメージング研究室

O2-3. 開頭覚醒下言語野マッピングの現状と展開

—マッピング困難例から見たマッピングのオーダーメイド化と ICT 化—

古西隆之¹、川崎聡大²、川田拓²、瀬溝香澄¹、市川智継³、黒住和彦³、千田益生¹

¹岡山大学病院総合リハビリテーション部

²東北大学大学院教育学研究科人間発達臨床科学講座発達障害学

³岡山大学病院脳神経外科

O2-4. 向社会的行動と背外側前頭前野の関連：HCP パイプラインを用いた検討

高岸治人¹、宮崎淳¹、石原暢¹、藤井貴之¹、金成慧¹

仁科国之¹、高橋宗良¹、田中大貴¹、山岸俊男^{1,2}、松田哲也¹

¹玉川大学脳科学研究所、²一橋大学

Coffee Break 17:10~17:20

イブニングセミナー 17:20~18:20

座長：木下利彦（関西医科大学精神神経科）

画像統計解析から見た高次脳機能障害

櫻井靖久

三井記念病院神経内科

情報交換会 18:30~



JHBM2018 YOKOHAMA

JHBM2018 YOKOHAMA

March 3rd, Saturday, 2018

3月3日(土)

教育講演 3 9:30~10:00

座長：横山絵里子（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

体性感覚誘発反応の皮質および皮質下マッピング

尾崎勇¹、渡部泰士^{2,3}、川端茂徳⁴

¹青森県立保健大学健康科学部、²株式会社リコー

³東京医科歯科大学大学院整形外科学分野、⁴東京医科歯科大学先端技術医療応用学講座

Coffee Break 10:00~10:10

シンポジウム 2 10:10~11:50

「脳画像研究up to date」

座長：笠井清登（東京大学大学院医学系研究科精神医学）

座長：林拓也（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター機能構築イメージングチーム）

- ・大規模脳画像データベースから見る脳の発達、加齢と認知症

瀧靖之

東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター

東北大学東北メディカル・メガバンク機構脳画像解析医学分野

- ・機械学習によるデータ駆動型解析の脳画像への活用

田中沙織

国際電気通信基礎技術研究所

脳情報通信総合研究所

数理知能研究所

- ・思春期コホートによる発達脳研究（東京ティーンコホート）

笠井清登、岡田直大、小池進介、安藤俊太郎

東京大学大学院医学系研究科精神医学

・ 霊長類脳コネクトーム

林拓也

理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター機能構築イメージングチーム

Coffee Break 11:50~12:00

ランチオンセミナー2 12:00~13:00

座長：平元周（横浜総合病院脳神経外科）

脳画像からみた認知症とてんかん

松田博史

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
脳病態統合イメージングセンター

一般演題 ポスター発表 2 13:00~13:50

P2-1. 衝動性眼球運動は成人の音読流暢性に影響を及ぼすのか

—f-NIRS を用いた視覚性注意と眼球運動機能の関係ならびに音読への影響の検証—

川田拓¹、川崎聡大¹、高橋知音²

¹東北大学大学院教育学研究科、²信州大学教育学部

P2-2. 快感情と不快感情に対する共感性の神経基盤

須恵明音¹、小川昭利²、高橋宗良¹、宮崎淳¹、松田哲也¹

¹玉川大学脳科学研究所、²順天堂大学大学院医学研究科

P2-3. 精神神経疾患の診断支援に向けた白質神経線維束に沿った MR 拡散情報の定量評価

鈴木康真¹、井田和希²、奥畑志帆²、中井隆介³、小林哲生²

¹京都大学工学部電気電子工学科

²京都大学大学院工学研究科、³京都大学こころの未来研究センター

P2-4. Thermosensory perceptual learning is associated with structural brain changes
in parietal-opercular (SII) cortex

Hiroaki Mano, Ben Seymour

Brain Networks and Communication Laboratory

Center for Information and Neural Networks (CiNet)

National Institute of Information and Communications Technology (NICT), Japan

P2-5. クロノタイプが課題遂行に及ぼす影響

竹内皓紀¹、川崎聡大²、中川雅文³

¹東北大学教育学部、²東北大学大学院教育学研究科、³国際医療福祉大学耳鼻咽喉科

P2-6. Neural substrate related to sound-meaning association on visual size judgment

Sachi Itagaki, Shota Murai, Kohta I. Kobayasi
Graduate school of Life and Medical Science, Doshisha University

P2-7. How neurons give us goose bumps : An fMRI study of music-induced chills

Shota Murai^{1,2}, Ae Na Yang¹, Kohta I. Kobayasi¹
¹Graduate school of Life and Medical Sciences, Doshisha University
²Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science

P2-8. 超低磁場・低磁場 MRI における圧縮センシングを用いた T1 強調画像撮像の高速化と
コントラスト改善

笈田武範¹、上田博之¹、谷口陽²、小林哲生¹
¹京都大学大学院工学研究科、²株式会社日立製作所研究開発グループ

P2-9. 自己の感情を伴う状況想起には前帯状回皮質の賦活が関与する

宮田紘平、大星由美、小池耕彦、定藤規弘
生理学研究所システム脳科学研究領域心理生理学研究部門
浜松医科大学生体機能イメージング研究室

P2-10. Development of human right inferior parietal lobule associated with self-body
recognition

守田知代^{1,2}、齋藤大輔³、伴碧⁴、島田浩二⁵、岡本悠子⁶
小坂浩隆⁵、岡沢秀彦⁵、浅田稔^{1,2}、内藤栄一^{1,2}
¹大阪大学、²CiNet、³金沢大学、⁴同志社大学、⁵福井大学、⁶ATR-Promotions

P2-11. メタ分析 fMRI データを制約に用いる MEG 電流源推定方法の提案

鈴木啓大^{1,2}、山下宙人^{2,3}
¹奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科
²ATR 脳情報通信総合研究所、³革新知能統合研究センター

P2-12. 脳波による事象関連深部脳活動評価法と応用

今井絵美子¹、片桐祥雅^{1,2}
¹神戸大学大学院保健学研究科、²情報通信研究機構未来 ICT 研究所

P2-13. 位相揺らぎを伴う外部リズムへの同期タッピングに関する研究

植村真帆¹、大谷啓尊¹、片桐祥雅^{1,2}
¹神戸大学大学院保健学研究科、²情報通信研究機構未来 ICT 研究所

P2-14. FDG-PET と NIRS の同時測定で発見された抗ヒスタミン薬服用下での脳糖代謝変化と
脳血流変化のミスマッチ所見

菊地飛鳥¹、稲見暁恵¹、三宅正泰²、Attayeb Mohsen¹、Fairuz Mohd Nasir²
松田林¹、平岡宏太良¹、四月朔日聖一¹、谷内一彦³、渡部浩司²、田代学¹
東北大学サイクロトロン・RI センター¹サイクロトロン核医学研究部、²同放射線管理研究部
³東北大学大学院医学系研究科機能薬理学分野

P2-15. A combined Diffusion MRI techniques and Magnetization Transfer Imaging Provide
New Insight on White Matter Microstructural Changes in Parkinson's Disease

Christina Andica¹, Koji Kamagata¹, Taku Hatano², Asami Saito¹
Yuki Takenaka^{1,3}, Masaaki Hori¹, Nobutaka Hattori², Shigeki Aoki¹
¹Department of Radiology, Juntendo University Graduate School of Medicine
²Department of Neurology, Juntendo University School of Medicine
³Department of Radiological Sciences, Graduate School of Human Health Sciences,
Tokyo Metropolitan University

P2-16. Neural substrate of individual differences for the response against mental stress in
human: a magnetoencephalography study

Emi Yamano¹, Akira Ishii², Masaaki Tanaka³, Yasuyoshi Watanabe^{4,5}
¹Health Metrics Development Team, RIKEN, Compass to Healthy Life Research Complex
Program
²Department of Sports Medicine, Osaka City University Graduate School of Medicine
³Department of Physiology, Osaka City University Graduate School of Medicine
⁴RIKEN, Compass to Healthy Life Research Complex Program
⁵RIKEN, Center for Life Science Technologies

P2-17. デフォルトの選好に反する社会的意思決定に及ぼすリスク回避傾向の影響:

HCP パイプライン及び大規模サンプルを用いた検討

田中大貴¹、宮崎淳¹、高岸治人¹、石原暢¹、藤井貴之¹
金成慧¹、仁科国之¹、高橋宗良¹、山岸俊男^{1,2}、松田哲也¹
¹玉川大学脳科学研究所、²一橋大学

P2-18. 中学高校の運動経験と成人後の認知機能の関連性に関する研究:

HCP パイプラインを用いた脳マルチモーダル MRI による検討

石原暢¹、宮崎淳¹、高岸治人¹、藤井貴之¹、金成慧¹
仁科国之¹、高橋宗良¹、田中大貴¹、山岸俊男^{1,2}、松田哲也¹
¹玉川大学脳科学研究所、²一橋大学

P2-19. Profiles of intentionality/morality judgments in autism spectrum disorder

Kazuki Iijima^{1,2}, Yukihiro Yomogida^{1,3}, Kosuke Asada^{4,5}, Kaosu Matsumori¹
Ayaka Sugiura^{2,6}, Shinichiro Kumagaya⁴, Kenji Matsumoto¹

¹Tamagawa University Brain Science Institute, Tokyo, Japan

²Japan Society for the Promotion of Science, Tokyo, Japan

³Department of Mental Disorder Research, National Institute of Neuroscience,
National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan

⁴Research Center for Advanced Science and Technology,
The University of Tokyo, Tokyo, Japan

⁵Faculty of Education, Hakuoh University, Oyama, Japan

⁶Department of Cognitive and Behavioral Science, Graduate School of Arts and Sciences,
The University of Tokyo, Tokyo, Japan

P2-20. 機械学習的手法により明らかにされたヒト味覚の神経基盤

Junichi Chikazoe^{1,2}, Daniel H. Lee³, Norihiro Sadato¹, Adam K. Anderson²

¹National Institute for Physiological Sciences, Aichi, Japan

²Cornell University, ³University of Colorado Boulder

P2-21. 安静時 fMRI-fNIRS を用いた脳深部活動の推定

岡田裕斗^{1,2}、山下宙人²

¹奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科、²ATR 脳情報解析研究所

P2-22. Lasso による安静時脳機能結合からの脳卒中患者における運動障害の推定

中村達弘¹、堀田富士子²、新藤恵一郎²、廣澤全紀²、牛場潤一³、花川隆¹

¹国立精神・神経医療研究センター、²東京都リハビリテーション病院、³慶應大学

P2-23. うつ病患者における言語流暢性課題施行時の左背外側前頭前野の機能低下に関する

光トポグラフィ研究

秋山友美^{1,2}、肥田道彦¹、大久保善朗¹、木村真人²

¹日本医科大学大学院精神・行動医学分野、²日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科

P2-24. アルツハイマー型認知症の脳内 $\alpha 7$ 受容体と認知機能：PET による研究

中泉享子、寺田達弘、吉川悦次、垣本晃宏、磯部卓志

武内智康、横倉正倫、鈴木勝昭、間賀田泰寛、尾内康臣

浜松医科大学精神科

浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター生体機能イメージング研究室

浜松ホトニクス中央研究所

浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター分子病態イメージング研究室

Coffee Break 13:50~14:00

スポンサードセミナー 14:00～14:40

座長：中川雅文（国際医療福祉大学耳鼻咽喉科）

難聴者支援スピーカーの脳科学的視点からの評価

中石真一路^{1,2}、中川慧^{2,3}、猪村剛史^{2,3}、河原裕美⁴、弓削類^{2,3,4}

¹ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社、²広島大学宇宙再生医療センター

³広島大学医歯薬保健学研究院生体環境適応科学研究室

⁴株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ

Coffee Break 14:40～14:50

シンポジウム3 14:50～16:05

「神経疾患における画像診断の新展開」

座長：松浦慶太（三重大学医学部附属病院神経内科）

座長：江田英雄（光産業創成大学院大学）

1. 頭部 MRI 画像と脳血流 SPECT 画像の FUSION 画像からみた認知症

田部井賢一

三重大学大学院医学系研究科認知症医療学

2. Correlation Imaging Plots (CIPS) による局所脳血流と神経心理学的検査スコアの関連の検討

高野大樹¹、山崎貴史¹、長田乾²

¹横浜総合病院脳神経内科、²横浜総合病院臨床研究センター

3. 磁化率強調画像での視床枕低信号とパーキンソン病脳深部刺激術療法後の認知機能との関係

松浦慶太

三重大学医学部附属病院神経内科

4. 非けいれん性てんかん発作および非けいれん性てんかん重積における

arterial spin labeling MRI 評価

大友智¹、大坪宏²、荒井啓晶¹

¹みやぎ県南中核病院脳神経外科、

²トロント小児病院神経科、トロント大学小児科

5. NIRS信号のartifactの判断：video-NIRSの応用

江田英雄^{1,2}、田部井賢一³、佐藤正之³

¹光産業創成大学院大学、²（株）フォトニクス・イノベーションズ

³三重大学大学院医学系研究科認知症医療学講座

ベストポスター賞授与・閉会式 16:05～16:25